

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語演習 I C	
科目基礎情報							
科目番号	0004		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電気工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	"Successful PRESENTATIONS AN INTERACTIVE GUIDE," Mark D.Stafford, CENGAGE Learning						
担当教員	池田 晶						
到達目標							
既習の語彙と文法事項を復習しながら、英語プレゼンテーションにおいて必要な英語力の向上につなげる。 (1) プレゼンテーションの意義を理解し、アウトラインが書ける。 (2) パワーポイントを使って、英語のプレゼンテーションが出来る。 (3) 効果的で印象的なプレゼンテーションを行うために必要な英語表現を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	プレゼンの意義を理解し、幅広い内容でまとまりのあるアウトラインが書ける。		プレゼンの意義を理解し、簡単にまとまりのあるアウトラインが書ける。		プレゼンの意義を理解し、断片的ではあるが趣旨の分かる簡単なアウトラインが書ける。		プレゼンの意義を理解できず、アウトラインが書けない。
評価項目2	パワーポイントを使って、10分程度のプレゼンが出来る。		パワーポイントを使って、7分程度のプレゼンが出来る。		パワーポイントを使って、5分程度のプレゼンが出来る。		パワーポイントを使って、簡単なプレゼンが出来ない。
評価項目3	英語プレゼンに必要な表現を用い、パワーポイントがなくても十分に伝わるプレゼンができる。		英語プレゼンに必要な表現を適切な語句とともに文の中で活用することができる。		英語プレゼンに必要な表現を発音し、書くことができる。		英語プレゼンに必要な表現を発音し、書くことができない。
学科の到達目標項目との関係							
JABEE (f) 教育目標 (G) ②							
教育方法等							
概要	第1学期開講 英語演習 I Cは、英語によるコミュニケーション能力を伸ばすための演習となります。コミュニケーション、つまり「言葉などを用いて自分と相手との間で情報のやりとりをする」ということになりますが、多くの場合「会話」を連想するかもしれません。その他には「プレゼンテーション」が挙げられると思います。プレゼンテーションの技術は、これから皆さんが研究発表をする際や、社内会議などの際に必要となってくるものです。昨年度の「英語演習 I B」で学んだ英語によるコミュニケーション能力の基礎である発音、文法、会話主題把握・展開力を応用させながら、少しずつ英語プレゼンについて学んでいきます。						
授業の進め方・方法	【授業態度について】 「教材を持ってこない」、「私語をする」、「携帯電話を使用する」、「居眠りをする」、「飲食する」、「出席したとしても全く授業に参加しない」、といった態度や、配布したプリント類を紛失した場合は、自分だけではなく、周りの学生に悪影響を及ぼすので、大幅な減点対象とします。本の辞書でも電子辞書でも構いませんので、辞書は必ず持参してください。 【家庭学習について】 毎日の積み重ねが大切です。毎回セクションごとに予習課題が出るので、しっかりと準備して授業に臨めるようにしてください。本授業の最大の評価点であるプレゼンをするために、教科書を手にしたときから、何をプレゼンするか、日ごろから考えるようにしておきましょう。						
注意点	学習到達目標として「英語でプレゼンをする」ということが掲げられていますが、皆さんにとって初めての経験だと思っています。人前で発表する、しかも英語で！というような不安な気持ちでいっぱいなのは、今このメッセージを読んでくれている皆さんの友だちも同じだと思います。一つ一つ確実に学んで積み重ねていき、自信に繋がっていきましょう。最後に、英語の授業は「グローバル化」ということと関連付けられることが多いですが、英語だけを大切にすることはなく、英語以外にも世界には数え切れないほどの言葉があって、それぞれとても魅力的でかけがえのないものである、ということも忘れないでください。英語の勉強を通して、自分なりにグローバル化とは何か、ということについて考えてみてください。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	導入：概要説明 Unit 1 Self Introduction			・授業の目的・評価基準・評価方法、教材の確認、担当か所を決める。	
		2週	Unit 2 Hometown			Eye Contact, Overview, Overview Slideを理解する。	
		3週	Unit 3 Family			Gesture, Details, Detail Slidesを理解する。	
		4週	Unit 4 Interest			Stage Position, Conclusion, Conclusion Slideを理解する。	
		5週	Unit 5 Education			Projection, Introductory Phrases, Layoutを理解する。	
		6週	Unit 6 Culture Shock			Enunciation, Signpost Expressions, Presentingを理解する。	
		7週	Unit 7 Stereotypes			Intonation, Facts&Opinions, Explainingを理解する。	
		8週	Unit 8 Population			Phrasing, Supporting Evidence, Varietiesを理解する。	
	2ndQ	9週	Unit 9 Events			Anticipating Questions, Informing, Graphsを理解する。	
		10週	Unit 10 Places			Understanding Questions, Describing, Imagesを理解する。	

		11週	Unit 11 Processes	Checking Understanding, Explaining, Chartsを理解する。
		12週	プレゼン準備（１）	グループをつくり、発表題目を決定し、準備する（１）。
		13週	プレゼン準備（２）	グループをつくり、発表題目を決定し、準備する（２）。
		14週	プレゼン本番	グループ発表をする。
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・テストの反省 授業アンケート	試験の解説と授業アンケート。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	30	50	0	0	0	20	100
基礎的能力	30	50	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0